国民年金 加入手続きを忘れずに
二十歳以上六十歳未満の人が対象

日本国内に住む二十歳以上六十歳未満の人は、必ず国民年金に加入することになっています。そして、国民年金の加入者は、次のように三つに分けられます。

①第一号被保険者…農業、漁業、自営業、自由業など厚生年金や共済年金に加入していない人（ただし、昼間部の学生は、希望すれば加入できる任意加入となります）

②第二号被保険者…会社（厚生年金）や官公庁（共済年金）に勤めている人

③第三号被保険者…サラリーマンの奥さん（第二号被保険者に扶養されている人）

三種類の加入者の中で、第一号被保険者または第二号被保険者に該当する人は、国民年金の加入の手続きが必要です。手続きをするときに必要なものは、次のとおりです。

□第一号被保険者…印鑑、年金手帳

□第二号被保険者…印鑑、健康保険証、ご主人と自分の年金手帳

国民年金の届出をしていない人は、すぐに加入の手続きをしてください。

六十歳以上の人も国民年金に任意加入を

六十歳以上の人でも、次に該当する人は、国民年金に任意加入することができます。

□受給資格期間が足りない人…六十歳になるまでに、年金を受けるための資格を満たせなかった人でも、任意加入することによって、老齢基礎年金が受けとれるようになります。

□年金額の増額をしたい人…受給資格は、満たしているのに、過去に保険料の未納期間があるため、年金額が減額される人も、任意加入することによって、満額または満額に近い老齢基礎年金を受けることができます。

加入の手続きをするときは、印鑑と年金手帳が必要です。市役所市民課国民年金係（☎24－2111内線221、222）で手続きをしてください。

国民年金保険料は有利で便利な前納を

国民年金の保険料は、毎月納めてもらっていますが、保険料の支払いには、一年分をまとめて支払う前納制度もあります。この制度を利用すると、保険料の割引があります。前納を希望される人は、市役所市民課国民年金係（☎24－2111内線221、222）へお申し出ください。

なお、毎月納めた場合の保険料と前納した場合の保険料は、下の表のとおりです。

国民年金保険料の月額が七千四百円に

国民年金の保険料が四月分から改正されます。定額保険料は一か月七千四百円で、付加年金加入者は、七千八百円になります。

国民年金制度は、年をとったり、障害などで働けなくなったときに、年金で生活を保障することを目的にしています。そのため、年金は、そのときの社会情勢に応じた水準にしなければなりません。また、高齢化社会が進み、年金の受給者も増えています。このようなことから、国民年金の財源をまかなっている保険料も引上げが必要になるわけです。国民年金制度を今後も健全に運営していくため、市民の皆さんのご協力をお願いします。

国民年金保険料の前納割引制度

納付区分 ＼ 保険料の種別	毎月納付の場合（A）	前納の場合（B）	割引額（A）－（B）
定額保険料	7,400円×12月＝88,800円	86,660円	2,140円
付加保険料	400円×12月＝4,800円	4,680円	120円

表彰を受けた新関小学校（上）と信濃川での鮭の稚魚の放流（下）

環境美化活動で県表彰

さきごろ、環境美化模範活動校として新関小学校が、環境美化地域模範活動団体として小合地区青少年対策推進委員会が、それぞれ県の表彰を受けました。

新関小学校は、昭和59年から実施されている「阿賀野川クリーン作戦」に参加していることや、「きれいな川に鮭が帰る」を合言葉に、環境美化に関する学習として「鮭の稚魚の飼育から放流まで」の一貫した実践活動を継続していることが認められたものです。

一方、小合地区青少年対策推進委員会は、地域ぐるみで「心豊かな子どもの育成」を図るために、昭和60年から「信濃川クリーン作戦」を実施。ゴミを回収するだけでなく、標語の看板の作成、鮭の稚魚の放流を行ったことなどが評価されました。

差押え物件を公売します

差押え物件を次のように公売します。

□とき…四月十四日（火）の午前十時～十時三十分

□ところ…市役所税務課

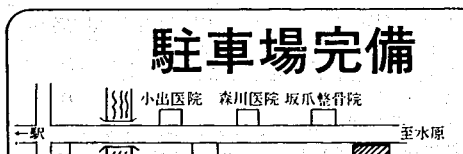
□物件名…電話加入権（四本）

ただし、滞納者が公売日時までに、滞納額を完納した場合は、公売を取りやめます。

くわしいことは、市役所税務課（☎24－2111内線266）へお問い合わせください。

お買物、ご用命は市内で

駐車場完備
胃腸・皮膚・肛門（ぢ）・泌尿・×線
山田外科医院
正しい姿勢は健康の泉
居合道会員募集。女性歓迎



幕末明治夜話 (132)

阿達義雄

(三)草津温泉での別れ

豊前小倉を後にして、再び旅浪の旅についた留六郎と盛治郎は、その後、小倉から中国に渡り、畿内を経巡って東海道に入り、関東路を進んで草津温泉に着いた。そして、暫く此の温泉に長旅の疲れを癒すことになった。

滾々と湧き出す天恵の温かい湯に疲れ切った身体をゆっくり浸した二人は、つくずくと過去の旅の憂き苦労を追想した。故郷新発田を出立してから早や二十ケ年以上の歳月を送り迎えている。留六郎は既にとっくに六十を越してしまった。

叔父や兄に伴われて母の膝下を離れた十五歳の少年盛治郎は、浮世の荒波に揉まれて三十余歳の人間となっていた。

盛治郎は、叔父留六郎に話しかけた。

「叔父さん……私はこうして、いつまでも同じ様な旅を続けていることに堪えられなくなりました。私は、これから奥州路を捜し、それで手懸りがなかったら、兄を尋ねて共に刺しちがって死んでしまうつもりです」

この決意を聞いて叔父の留六郎は、無理もないと同情しながら、

「別れ別れになって捜すことはいいが、短気を起こしてはいけない。お互いに敵の消息がわかったら江戸の藩侯の御屋敷に知らせて、連絡を取ることにしよう……」

と話を極め、ここに袂を別つことになった。

草津で叔父留六郎と別れた盛治郎は、伊豆・相模・下総・上野・下野と経巡って常陸水戸の城下に入った。

水戸には、盛治郎の竹馬の友渡部進太夫という侍がいる。この旧友渡部進太夫に邂逅し、その世話で水戸家に仕官した。

水戸の若侍に武術の指南することになったが、苦労人だけに評判が好く、藩主水戸宰相の信任と一藩の敬愛を受け、翌年には藩侯に随従して江戸に上り、小石川の水戸屋敷に定詰の身となった。

(三)山の温泉場で髪結床開業

草津温泉で盛治郎と別れた留六郎は、信州松代にいる旧友岩間民部を訪ねて、自分の今の境遇などを打明け、いろいろ親切な世話を受けた。

二十何年にわたる長い憂いと苦労で留六郎の身心は、弱っていた。その年齢も七十歳に近くなっていたから尤ものことであって、岩間民部は、

「血気の幸太郎が何とか便りを寄せて来るまで、老体を保養したらよかろう」と勧めてくれた。

また、留六郎にしても、

「これまで捜しても消息の分からない敵だから、一月や二月保養に月日を送ったからとて、敵を逸するようなこともあるまい」と思って、民部と相談して、松代の城下から七里ばかり離れた浅間山の麓の温泉場に、暫く身を養うことになった。

だが、湯治遊山の暢気な身の上ではない。保養するにしても、何とか敵捜しにも便宜があり、また、自分の生活に困らない方法がないだろうかと考えた結果、何しろ下男奉公までした苦労の甲斐があり、髪結床を始めてみたら、沢山の湯治客にも接して、四方山の話も耳にすることが出来るし、生計も立つだろうということになり、この山間の温泉場に髪結床を開業したのであった。

(四)意外な手懸り

幸太郎は、京都の近在品多村で、春雨に日は暮れて、田舎路に迷っていた時、灯火を頼りに立ち寄った一軒の百姓家に好遇されたことが機縁となって、遂にこの村で医者になり澄まして、村の者に歓迎されて日を送っていたが、やがて其の年も暮れ、安政元年を迎えると、年始の礼に来た村人の中に、弥助という奥州訛りのある百姓があった。

幸太郎と弥助は、初春の長閑な雑談に時を移している間に、弥助は思い出したように語り出した。

「先生は越後の御方だということだが……私は奥州仙台の御城下から余り遠くない名取郡富沢村という所の百姓でございます。流れ流れた揚句、三十一の時にこの村に落ちつくことになった者でございます。

先生様が越後の方だと聞いて、思い出すことがございます。私の村に成就院というお寺がございます。この寺の和尚様も越後の人だということでした。

不思議なことには、この和尚さんは、いつも短刀を懐中から離したことがなく、檀家に行く時でも、用達しに出かける時でも仕込杖を携えて歩くのでした。坊様に刃物は不思議なことだと私共は噂をしていたものです……」

弥助の話は、幸太郎を緊張させた。そんな事には気のつかない弥助は、興に乗って話し続けた。

「……そればかりではない。この和尚さんは他人に会うことを大変に嫌い、檀家での用でさえ、自分で出かけないで代僧に勤めさせるという有様……それで村中で評判でした」

之を聞くと、幸太郎は血相を変えたので、百姓の弥助は面喰い、

「先生……どうかなさいましたか……」

と言われて、ハット気がつき、其の場は巧みに調子を合わせたのであった。

過去二十年の辛労、漸く報いられて、敵の消息を知るを得た幸太郎の血は、再び憤怒に燃え立った。一刻も早く引っ捕えて思う存分斬り苛んでやりたかった。然し、果して弥助の語った不思議な和尚は、目指す敵の滝沢であろうか。

滝沢であったとしても、今も未だ成就院という寺にいるであろうか。それが不安になってきた。

いまは一刻も猶予すべきでないと思った。

（新潟大学名誉教授）

お買物、ご用命は市内で

ギター教室 生徒募集中
レッスン内容を知って頂く為、初めの1ケ月は無月謝です。お気軽においで下さい。
新津ギター教室 本町2丁目 とくや2F
☎ 025-280-3623（根本）

春風の薫る季節
ダイヤオレンジ
豊富な果汁に甘味と香りをそえておいしい伊予柑のニューフェイスです。
フレッシュでおいしい果物の店 やまいし 新津市本町3 TEL 23-0397